

■殺虫剤：農業用

ガードナー®フロアブル

成分 イミダクロプリド……10.0%
 スピノサド……10.0%
 物理的・化学的性状 類白色水性和性粘稠懸濁液体

登録番号：22871
 毒性：劇物
 消防法：—
 有効年限：4年

包装：500ml×20

◆特長

- 水稲育苗箱灌注処理で、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイに対して高い防除効果を示します。
- キャベツ、ブロッコリー等のセルトレイ苗に灌注処理することで、チョウ目、アブラムシ類に高い効果を示します。
- 灌注処理で、省力化に貢献できます。

◆適用と使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | イミダクロプリドを含む農業の総使用回数 | スピノサドを含む農業の総使用回数 |
|------------|---|------|--|----------------|---------|-------------------------------|---|-----------------------------|
| 稲 (箱育苗) | ウンカ類 イネヒメハモグリバエ ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ | 100倍 | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ | 移植3日前 ～移植当日 | 1回 | 灌注 | 3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内) | 1回 |
| キャベツ | アザミウマ類 アブラムシ類 アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ | | セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm、 使用土壌 約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ | 定植3日前 ～定植当日 | | | 3回以内 (育苗期の灌注及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内) | 4回以内 (定植前は1回以内、本圃では3回以内) |
| はくさい | アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ | | | | | | 3回以内 (定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内) | |
| ブロッコリー | アブラムシ類 アオムシ ハイマダラノメイガ コナガ | | | | | | 4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内) | |
| レタス | ナモグリバエ オオタバコガ | 200倍 | | 定植当日 | | 3回以内 (育苗期の処理は1回以内、散布は2回以内) | | |

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用前によく振ってから使用すること。
- (2)本剤を稲（箱育苗）に使用する場合には次の項目を守ること。
 - ①誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守すること。
 - ②軟弱徒長苗、おれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
 - ③本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意すること。
- (3)キャベツ、はくさい及びブロッコリーに使用する場合、葉に黄色斑点、葉縁の褐変等の薬害が生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められない。
- (4)本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (5)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1)医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2)使用の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。

◆魚毒性

- (1)水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (2)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないようにすること。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。